



ユネスコエコパーク通信

Vol.4(R8.9.28 発行)

あっという間に秋の訪れを感じる季節になりました🍁

お久しぶりのエコパーク通信ですが、今回はユネスコエコパークの取組についてご紹介します。

関係自治体と連携した取組

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークでは、登録エリアの2県6市町(大分県、佐伯市、竹田市、豊後大野市、宮崎県、延岡市、高千穂町、日之影町)や住民代表者等で構成された「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会」を設立しています。協議会では、ユネスコエコパークを推進していくため、3つ基本方針のもと各種事業に取り組んでいます。是非、公式ホームページもご確認ください♪

<3つの基本方針>

基本方針1 貴重な生態系の持続的な保全 (地域活動団体情報交換会、Clean 活動デーなど)

基本方針2 学術的研究や調査・研修への支援 (小学生向けESD促進事業、高校生夏休み学習・研究プログラムなど)

基本方針3 自然と共生した持続可能な発展 (ブランド認証品推進事業、PR グッズ製作など)



公式 HP



佐伯市の取組

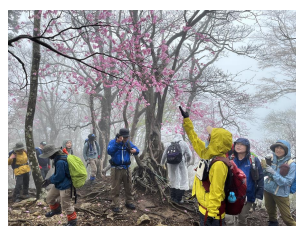
佐伯市では、ブース出展等の佐伯市独自事業のほか、市と民間団体等で構成された「佐伯地域ユネスコエコパーク推進協議会」を設立し、各種事業に取り組んでいます。 [Instagram](#)

1 環境整備事業 (登山口までの路面清掃、藤河内溪谷の遊歩道清掃など)

2 次世代育成事業 (エコパーク体感事業、エノハつかみ取り体験など)



3 普及啓発事業 (夏木山アケボノツツジ鑑賞登山、観音滝水瀑ツアーなど)



今後の事業はInstagram等でご案内しますので、是非チェックをお願いします♪